

うきは市商工会だより



野菜・果物つめ放題 (つかみ取りの最中のワンショット)

うきは白壁マルシェ



平成27年筑後よしおひなさまめぐり(期間約2か月間)の来街者は、9万人(うきは市観光協会調べ)で、前年より増加傾向にあります。さらに本年は、うきは市政合併10周年というひとつの節目の年でもありました。この期間中せっかくうきは市にお見えになるお客様方にさらに喜んでいただけるイベントを考えました。

3月21日に白壁ホールにて合併記念式典を執り行なうという情報をもとに行政との連携をとりながら昨春秋、企画委員会を立ち上げました。過去にない催事にしたという思いもあり通常だと商工会関係者のみになりがちの委員会を見直し、市内金融機関、行政(商工観光課)、よさこいの方々、観光協会、4Hクラブ、うきはスイーツ&フルーツコレクション実行委員会のみなさんに参加要請しましたところ快諾していただき、約30名ほどの企画委員会を立ち上げる事ができました。最初は、どういったイベントにすべきかで難航したのを覚えています。4つの班に分かれてグループでの協議をし、最後に班ごとの発表をしてもらいました。そして全員一致でタイトル「うきは白壁マルシェ」と決まりました。マルシェとは「市場」という意味で「うきはのモノの良さを内外に向け再発信しようじゃないか」というコンセプトでやろうというイメージで会議を進めていきました。

企画委員会のみなさんにそのまま実行委員会に移行してもらい当日を迎えました。21日午前10時浮羽羽真館高校吹奏楽部のみなさんにオープニングを飾ってもらい、またステージイベントも今までにない形で福岡住みます芸人、吉本興業の芸人さん「ぶんぶん丸」の2人にMCをしてもらいました。地元ジャズバンドの方々、よさこい踊り、野菜のつめ放題、漫才等々盛り上がり、また東屋では、吉井町内の小学校に呼びかけ体験教室も同時に開催、ケーキ作り、陶芸教室、切り花を行い小学生250名に参加してもらいました。22日(2日目)は、趣向を変え「うきはスイーツ&フルーツコレクション」を開催、スイーツ一色のイベントでした。

2日間の来場者約8千人の方々に楽しんでもらいました。来年は、2月酒蔵開きに合わせ浮羽町でのマルシェを企画中です。

うきは白壁マルシェ実行委員会 久保田 邦雄